

チェック結果の確認方法【壁量チェック】

文書管理番号:1185-03

Q.質問

壁量チェックのチェック結果で、「建築基準法による判定」がNGや注意になり、「性能表示による判定」 の耐震等級や耐風等級が「***」で表示される。どのように修正したらよいか。

チェック結果	×	
建築基準法による判定 NG 性能表示による判定 耐震	〕 穿級 *** 等級 (目標等級 3 等級)	
耐風	fry)結果	×
柱の有効細長比 面材・筋達と柱チェック	建築基準法による判定 注意	
3階 -	「生能表示」こよる判定 耐震等級 <u>****</u> 等級 (目標等級 2 等級) 耐風等級 <u>****</u> 等級 (目標等級 2 等級)	
2階 OK 1階 NG NG判定の階で、耐力	面材・筋違と性チェック 壁量(建築基準法) つりあいチェック 柱の有効細長比 壁量(性能表示) 耐力壁線間隔・床倍率チェック	
柱と耐力壁の取り付き	階 床梁・小屋梁の 批手・仕口 耐力壁線間隔 (≦8m) 床倍率 一 耐震 耐風 一 午毎2 午毎2	
	288 NG NG OK OK 1000 NG OK OK	
	1階 OK NG NG NG NG	
		Ð

A.回答

・
「
・
・
節違の配置が不足していたり、柱芯に正しく接合していない場合や、床倍
率が不足している場合などに「NG」や「注意」、性能表示による判定が「***」になります。
判定結果で「NG」になっているチェック項目により、確認する部分が異なります。



建築基準法による判定が「NG」または「注意」の場合

建築基準法による判定が関わるチェック項目は、以下の通りです。

「面材・筋違と柱チェック」にNGがある場合
 耐力壁と柱の配置について確認します。
 詳しい操作方法は、こちらをご覧ください。
 [1085]「面材・筋違と柱チェック」のNG 解消
 方法【壁量チェック】



「壁量(建築基準法)」にNGがある場合
 面材・筋違の配置や壁倍率について確認します。
 詳しい操作方法は、こちらをご覧ください。
 [1186]「壁量(建築基準法)」のNG解消方法

【壁量チェック】

					ETNEN(P)	- 閉じる(C)	^ルフ°(<u>H</u>)	
チェック結果								×
建築基 面村・調	洋準法によ 売達と柱テ:	る判定 NG	<mark>。</mark> 築基準法)	0りあいチェック :	性の有効細長比			
階	方向	存在壁量	必要壁	∎×P 耐風	判定			
	X方向	45.50	8.08	8.24	OK			
202	Y方向	36.40	8.08	13.42	OK			
1815	X方向	50.05	20.66	20.33	OK			
198	Y方向	27.30	20.66	28.62	NG			
P:各	指定基準	係數		Ŧ	時記置(<u>B</u>)			
					印刷(P)	閉じる(<u>c</u>)	√/L7°(H)	

「つりあいチェック」にNGがある場合
 面材・筋違の配置位置や、壁量について確認します。
 詳しい操作方法は、こちらをご覧ください。
 [1187]「つりあいチェック」のNG解消方法
 【壁量チェック】

77前日月	•														
建築	基準法に	よる判定	NG												
	071-0 L ++-	() P* 5	/26-88-98-0	(m)	本口チェック	***	4 m = 1	L.							
19140	加加速と仕	/1// 望里	0896324	=/#)	00001277	110183	小袖子	6							
				会46冬/1	nna ve	n sh			偏心理	ヹチェック					
_	_			n+09#e0.				建築基	準法	性能表	धनः				
階	方向	ゾーン	存在壁量	耐震必要 壁量	充足率	壁车比	判定	偏心牢	判定	偏心牢	判定				
		北側1/4	0.91	1.24	0.73	0.66	0.66 OK				0.070	01			
185	ت التركيم ا	南側1/4	2.73	2.48	1.09			0.079	OK	-	-				
248	1 V±6	西側1/4	11.87	1.55	7.82	0.99	ок	0.041	ок	-	-				
		東側1/4	18.20	2.48	7.32	0.99									
	Vitria	北側1/4	13.65	4.02	3.39	0.49	ОК	0.557	NG	-	-				
185		南側1/4	9.10	5.40	1.68		0.43 OK								
1	Y方向	西側1/4	4.55	4.74	0.95	0.27	NG	0.162	ок	-	-				
	1.001-0	東側1/4	18.20	5.28	8.44										
							ELLÉN	e	閉じ	5(C)	- 1/	いて(日)			

「柱の有効細長比」に NG がある場合
 プラン図で配置した柱のサイズと、準備入力で設定した横架材間距離を確認します。
 詳しい操作方法は、こちらをご覧ください。
 [1188]「柱の有効細長比」の NG 解消方法
 【壁量チェック】

Finyh結果	ę.						>
建築	基準法に	よる判定	NG				
面材·	筋違と柱	チェック 壁雪	11. (建築基準法) つりあいチェック 柱の有効	加細長比		
184	形状	柱心小径	柱の座屋長さ	座屋方向の断面2次半径	有动线展开	判定	
2		105	2620	105/346	86.34	OK	
-	õ	120	2620	120/3.46	75.55	OK	
1	ŏ	105	5000	105/3.46	164.77	NG	
	0	120	5000	120/3.46	144.17	OK	
					CONING)	P9: Z(c) 017	91.0
				L.	cive/(E)	140-200	U.



性能表示による判定が「***」の場合

性能表示による判定が関わるチェック項目は、以下の通りです。

「壁量(性能表示)」にNGがある場合
 面材・筋違の配置や壁倍率について確認します。
 詳しい操作方法は、こちらをご覧ください。
 [1189]「壁量(性能表示)」のNG 解消方法【壁量
 チェック】

	面材・) 柱の有効	筋違と柱チェック h細長比		壁量 (19	壁量 (建築基 能表示)	準法)	耐力壁	: 線間隔・/	りりあいチェック 末倍率チェック
-				ñt	震		耐風		
階	方向	存在壁量	等級2 必要駐量	2 [判定	等級3 必要键量	利定	等級2 必要駐量	2 】 判定	
_	X方向	18.65	14.20	OK	17.35	OK	15.32	OK	
298 j	Y方向	19.92	14.20	OK	17.35	OK.	7.33	OK	
	X方向	28.52	26.84	OK	82.20	NG	30.18	NG	
	Y方向	87.12	26.84	OK	32.20	OK.	16.34	OK	
							再配	置(<u>R</u>)	

 「耐力壁線間隔・床倍率チェック」にNGがある場合 面材・筋違の配置位置や配置量、水平構面の倍率を 確認します。
 詳しい操作方法は、こちらをご覧ください。
 [1201]「耐力壁線間隔・床倍率チェック」の NG 解消方法【壁量チェック】

	面材・筋違と柱チェ 柱の有効細長比	ック 壁量	壁量 (建築 (性能表示)	基準法) 	耐力壁線間	つりあいチェック 開・床倍率チェック
83	庄沙・小屋沙の	おナナト名を公日月秋夏		床倍率		
" 維季·社	維手·仕口	(≦8m)	等級2 等級3		第級2	
27皆	ОК	NG	NG	NG	NG	
1階	ОК	ОК	OK	OK	OK	

【参考】性能表示による判定の等級表示 チェック結果 「準備入力」で設定した耐震・耐風等級を満たし 建築基準法による判定 OK ていれば、性能表示による判定では等級が表示さ 性能表示による判定 耐震等級 2 等級 (目標等級 2 等級) 耐風等級 2 等級 (目標等級 2 等級) れます。 面材・筋違と柱チェック 壁量(建築基準法) つりま 例えば、耐震・耐風ともに「2等級」で設定し、 壁量(性能表示) 柱の有効細長比 耐力壁線間隔·床倍 耐風 耐震 耐震等級3は満たしていない場合、「壁量(性能 階 方向 存在壁量 等級2 等級3 等級2 必要壁量 判定 必要壁量 判定 必要壁量 判定 表示)」や「耐力壁線間隔・床倍率チェック」では、 X方向 14.20 17.95 15.32 OK OK 20.38 OK 2階 |Y方向 14.20 17.35 7.33 14.65 OK NG OK 耐震等級3の判定項目に「NG」と黒文字で表示 X方向 26.84 32.20 30.18 30.21 OK NG OK 1階 Y方向 27.57 26.84 32.20 16.34 Гoк NG OK されます。

しかし、目標等級は「2 等級」なので、性能表示による判定の耐震等級は「2 等級」と表示され、 目標に達していることになります。